



千束地区自治会連合会 発行
 地域力推進千束地区委員会

編集長 土屋 光 一
 事務局(千束特別出張所内) 電話 3726-4441



赤松小学校 改築工事の現況

赤松小学校及び仮称北千束二丁目複合施設
 完成イメージ



▲正門前の仮設運動場

現在の赤松小学校は、西側校舎が解体され、新校舎の建設が行われています。なお、職員室のある旧北側校舎の一部や給食室のある東側校舎及び体育館は残されています。

改築にあたり、仮設校舎を校庭に設置することとなり、地域住民への校舎改築の説明会で、「一体を思いきり動かせない子供たちのために正門前の駐車場を運動場として借りることは出来ないか？」との意見がありました。今年8月に、駐車場の一部が仮設運動場として整備され、2学期から子供たちは元気に楽しく利用しています。

写真ギャラリー

～ 洗足池を訪れる野鳥たち その1 ～



ドバトのつがい



渡りの途中で飛来したキビタキ



「水辺の宝石」カワセミ

洗足池には、沢山の野鳥が生息していることをご存じでしょうか？
 「ふるさと千束」では、洗足池を訪れる野鳥に注目し、南千束在住のアマチュアカメラマン渡辺健三さんの作品より2回にわたってご紹介いたします。
 渡辺さんは、長年洗足池の野鳥を撮り続け、その作品は数百年にも及びます。
 今回は、渡辺さんのご好意によりデータをお借りし、掲載させていただきます。

渡辺さんの作品は、洗足池駅前の洗足風致協会（ポートハウス）横にある休憩所にて、現在、展示中ですので、是非、そちらにもお立ち寄りください。



魚獲りが上手なカワウ 翼を大きく広げひと休み



ハクセキレイ 道上で尾をフリフリ歩く姿が可愛い



じゃれ合うスズメ



「区の花」ウグイスと「区の花」ウメの共演

主な活動場所
石川町文化センター

代表者 石塚 泰彦

連絡先 03-3728-1886
(事務局・内田雄一)



卓球しむき会
 わたしの仲間 その13

毎週1回、午後1時から午後3時半まで活動しています。
 会員は現在9名で、卓球台は、5台あります。
 練習は、原則全てシングルでたまにダブルスも行います。
 特徴としては、会員も少ないので、練習前に相手を決めておき、1回10分から15分で2回、5分休んでまた練習を行います。

なお、大田区卓球連盟にも加入(男子のみ)していますので、定期的に試合に参加できます。
 会員募集していますので、練習に参加してください。お待ちしています。
 練習日等、詳細はお問合せください。

卓球しむき会
 わたしの仲間
 その13



オオタカ 至近距離での確認は大変珍しい

就任のあいなせ
〜千束でよかった〜



千束特別出張所長
阿部 大輔

千束地区の皆さま。本年4月1日より、千束特別出張所長になりました、阿部と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

「千束でよかった」は、3月末の人事異動内示で、着任先が千束特別出張所と伝えられた際に、心に浮かんだ率直な感想です。

というのも、私は千束保育園を卒園し、池雪小学校に2年生まで通っていたため、千束地区（特に洗足池公園）には思い入れがあるためです。池のボートや八幡神社での七五三など、家

族で訪れた光景が30年以上たった今でも色褪せずに思い出されます。

また、着任から7ヶ月が経ち地域の方々と触れ合う機会を少なからず持たせていただきましたが、その際に感じたのは、地域を愛する気持ちや人への思いやりに溢れた、魅力的な方ばかりだということです。そういった方々の地区に着任できたことも、「千束でよかった」と改めて思う理由の一つです。

残念ながら、まだまだコロナ禍の終息が見通せない状況においては、地域活動は制限され思うように進みません。しかし、防災を始めとして、立ち止まったままではいけない事業は多くあります。そのため、今年度も新しい形での活動を模索し、コロナ収束の暁には、コロナ前に戻るのではなく、コロナ前よりもさらにパワーアップした活動ができるよう、職員一丸となって務めてまいります。

数年後、人事異動で千束を去

らなければならぬ際に改めて「千束でよかった」と心から思えるよう、地域のために、地域の方々と協力し合いながら、精いっぱい励んでまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

千束地区管内の数字		
人 口	男	11,483人
	女	13,108人
	計	24,591人
世帯	13,494世帯	

令和3年10月1日現在



https://www.city.ota.tokyo.jp/chofu/ts_senzoku/jouhoushi/index.html

ふるさと千束
バックナンバー
大田区ホームページで
公開中です。

編集後記

東京2020オリンピック・パラリンピック開催の年、ふるさと千束は完全カラー化されて今回が10回目の発行となりました。きれいな鳥たちの写真を楽しんでいただけたかと思えます。

先日、工事中の赤松小学校におじゃまる機会がありました。半世紀前に体験した「ブレハブ」とは違い、今の仮設校舎は第62号でもご紹介したとおり、明るくてきれいでした。しっかりしていて、複合施設完成時には取り壊されてしまうのが、もったいないようでした。

校庭がなく、不自由な学習環境と思います。事故なく地域のみなさんの拠点となる施設が完成することを楽しみに、進捗状況をこれからもお知らせしていきます。

F・I 記